

# FM/MW/NSB1・NSB2 4バンドラジオ

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

**△警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## ICF-EX5

©1985 Sony Corporation Printed in Japan

## 主な特長

- FM放送、中波放送(MW (AM))、日本短波放送(NSB1・NSB2)の4バンドポータブルラジオ。
- 中波放送(MW (AM))の高感度受信を実現する長さ18cm、直径12mmのフェライトバーンアンテナ内蔵。
- 隣接局によるビート音や混信を軽減する同期検波回路を採用。
- 日本全国の主な中波放送局名を表示した、大きくて見やすい表示板。
- 日本短波放送はクリスタルを使ったプリセットチューニングで3周波数をワンタッチ切り換え。
- テレビ放送(1~3チャンネル)も受信できるFMワイドバンド。

## 使用上のご注意

### 取り扱いについて

- 次のような場所には置かないでください。  
- 温度が非常に高い所(40°C以上)や低い所(0°C以下)。  
- 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。  
- 風呂場など湿気の多い所。  
- 窓を閉めきった自動車内(特に夏季)。ほこりの多い所。  
- ラジオの内部に液体や異物を入れないようにご注意ください。特にDC IN 6V端子に水や異物が入ると故障の原因となることがあります。  
- 落したり、強いショックを与えるとしないでください。故障の原因になります。  
- 汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。シンナーやベンジンは表面をいためますので使わないでください。  
- このラジオのテレビ音声受信回路は、FM放送の受信回路と兼用であるため、一部の地域では、テレビ2、または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。このときは、ソニーの相談窓口またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。  
- キャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけないでください。スピーカーの磁石の影響で、カードの磁気が変化して使えなくなることがあります。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

### アフターサービスについて

#### 調子が悪いときは

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

#### それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

#### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

#### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### 部品の保有期間について

当社ではラジオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能時期とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などは  
ホームページをご活用ください。  
<http://www.sony.co.jp/support>

使い方相談窓口  
フリーダイヤル ..... 0120-333-020  
携帯電話・PHS一部のIP電話 ..... 0466-31-2511

左記番号へ接続後、  
最初のガイダンスが  
流れている間に  
「304」+「#」  
を押してください。  
直接、担当窓口へ  
おつなぎします。

修理相談窓口  
フリーダイヤル ..... 0120-222-330  
携帯電話・PHS一部のIP電話 ..... 0466-31-2531  
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389 受付時間 月～金9:00～20:00 土・日・祝9:00～17:00  
ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

## 故障とお考えになる前に

修理に出しになる前に、次のことをお調べください。

### ラジオの音が全く聞こえない

- 音量が最小になっている
- ②(イヤホン)端子にイヤホンが差し込まれている
- 電池を入れる向きが正しくない
- 電池が消耗している
- 外部電源で使用するとき、ACパワーアダプターがしっかりと差し込まれていない
- ACパワーアダプターをDC IN 6V端子に差し込んだまま、電池で使用しようとしている

### 雑音が入る、音が悪い

- 電池が消耗している
- 正しく選局されていない  
特に日本短波放送受信の場合にはNSB周波数切り替えスイッチを切り換えてみてください。放送時間や周波数にご注意ください。
- 電波が弱い  
建物や乗物の中などでは、なるべく窓際でお聞きください  
AM SENS切り替えスイッチがLOWになっている
- 外部アンテナ使用の場合、正しくアースされていない。

万一故障した場合は、内部を開けずにソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

## 主な仕様

周波数範囲	バンド	周波数範囲
FM	FM	76.0 ~ 108 MHz (TV1 - 3チャンネル) <sup>*1</sup>
MW	MW	530 ~ 1,605 kHz
NSB1	NSB1	3.925 MHz 6.055 MHz 9.955 MHz
NSB2	NSB2	3.945 MHz 6.115 MHz 9.760 MHz

スピーカー  
実用最大出力  
出力端子  
電源

直径10 cm  
1.3W (JEITA<sup>\*2</sup>/DC)  
②(イヤホン)端子 (φ3.5 mmミニジャック) 1個

DC 6V、単2形乾電池4本  
DC IN 6V端子: 定格DC 6V

別売りのACパワーアダプターAC-D4Lを接続して、AC 100V電源から使用可能

約264×149×63 mm (幅/高さ/奥行き) (JEITA<sup>\*2</sup>)

質量  
約1,050 g (乾電池含む、他の付属品含まず)

\*1地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によつて定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

\*2JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。

### 付属品

ソニー単2形(R14)マンガン乾電池(お試し用)(4)

キャリングベルト(1)

取扱説明書(1)

保証書(1)

ソニーご相談窓口のご案内(1)

\* 付属の乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

### 別売りアクセサリー

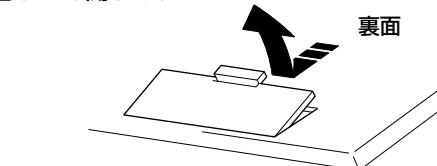
ACパワーアダプター AC-D4L

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

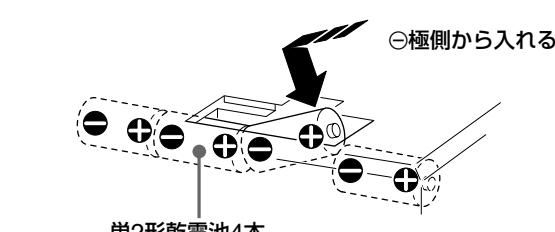
## 電源について

### 乾電池を使う

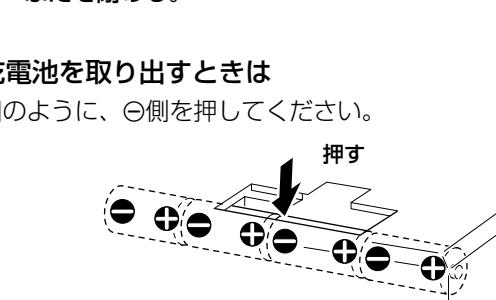
- 電池ふたを開ける。



- 単2形乾電池4本を、+/-を正しく入れる。



- ふたを閉める。



### ご注意

乾電池を使うときは、ACパワーアダプターをDC IN 6V端子から抜いてください。つながっていると乾電池では使えません。

### 乾電池持続時間

### JEITA\*

	FM	MW	NSB1・NSB2
ソニー単2形(LR14)	約120時間	約85時間	約82時間
アルカリ乾電池			
ソニー単2形(R14)	約44時間	約29時間	約28時間
マンガン乾電池			

\* JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。実際の持続時間は、使用する機器の状況により変動する可能性があります。

### 乾電池の交換時期

乾電池が消耗してくると音が小さくなったり、ひずんだりします。その場合は、乾電池を4本とも新しいものと交換してください。

### コンセント(家庭用電源AC 100V)で使う

別売りのACパワーアダプターAC-D4LをDC IN 6V(外部電源入力)端子につなげます。ACパワーアダプターは、DC IN 6V端子とコンセントにしっかりと差し込んでください。

乾電池が入っていても自動的に家庭用電源に切り換わります。

### ご注意

乾電池の液もれを防ぐために、コンセントでお使いの場合は、乾電池を取り出しておくことをおすすめします。

長い間使用しないときは、ACパワーアダプターをコンセントとDC IN 6V端子から抜いてください。

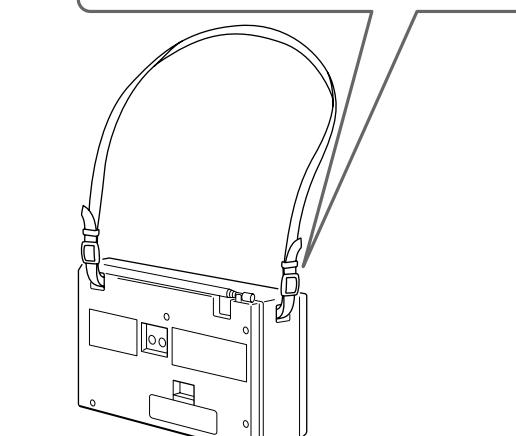
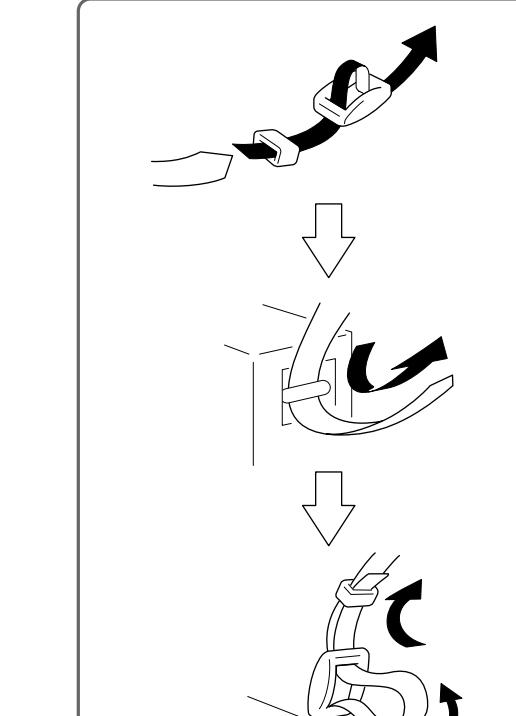
ACパワーアダプターは、ソニーの推奨品または同等品をお使いください。プラグの極性・その他の仕様の違う製品を使うと、故障したり、性能を十分に発揮できないことがあります。

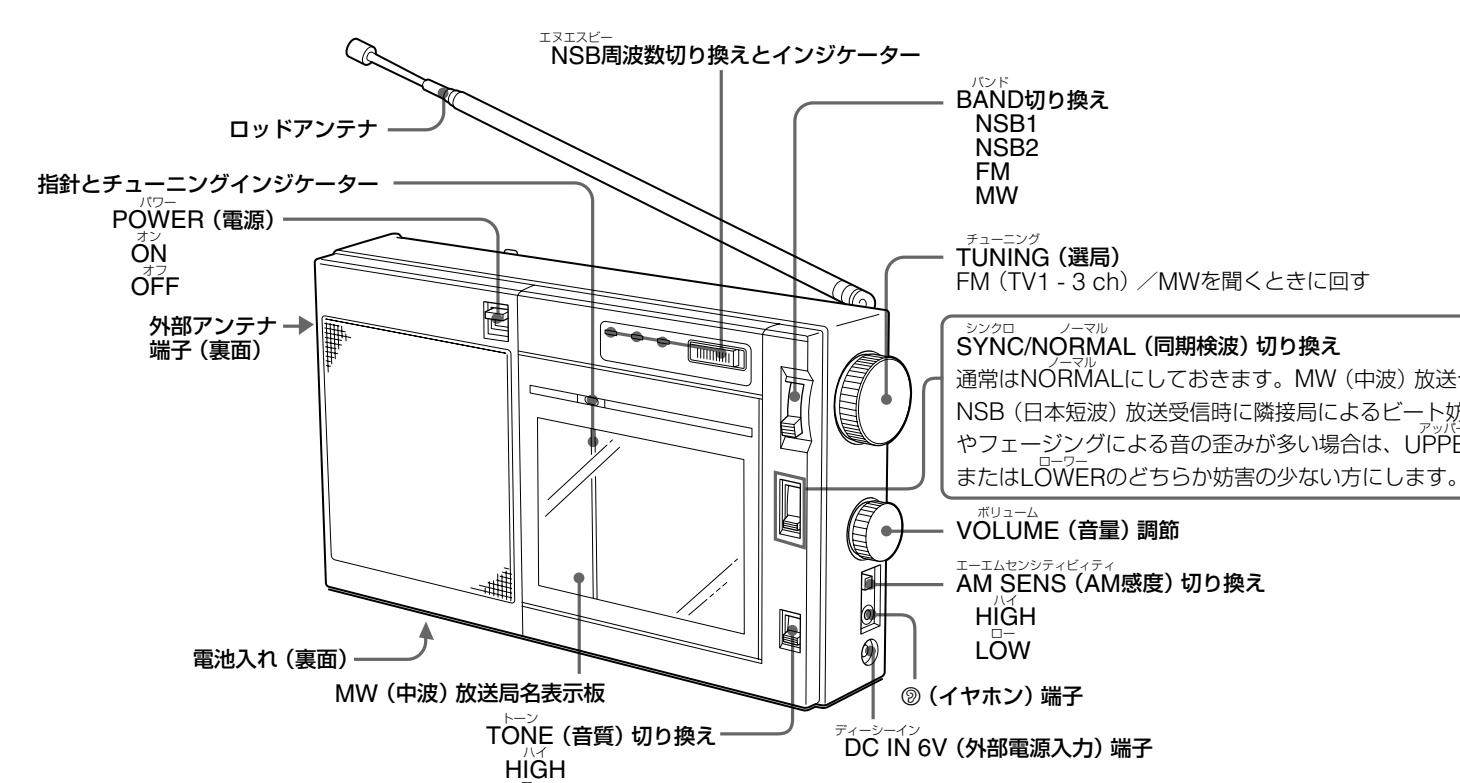
JEITA規格極性統一型プラグと極性が異なります。購入時はソニーの従来タイプのACパワーアダプターをお求めください。



ソニーのプラグの極性

## キャリングベルトの使い方





## ラジオを聞く

- 1 POWERスイッチをONにして電源を入れる。
  - 2 BAND切り換えスイッチで聞きたいバンドを選ぶ。  
TV (1 - 3 ch) 放送を聞く場合はFMに合わせます。
  - 3 VOLUME調節つまみを右に回して、選局できる程度の音量にする。
  - 4 FM (TV 1-3 ch) 放送またはMW (中波) 放送を聞くときは、TUNINGつまみを回して聞きたい放送局に合わせる。  
受信すると指針の先についているチューニングインジケーターが点灯します。
  - NSB1・NSB2 (日本短波放送) を聞くときは  
NSB周波数切り換えスイッチを、3MHz, 6MHz, 9MHzのうち、放送が最もよく聞こえる位置にあわせます。選んだ周波数のインジケーターが点灯します。
  - 5 VOLUME調節つまみで音量を調節する。
  - 6 TONE切り換えスイッチで音質を選ぶ  
通常はHIGHにしておきます。雑音が多く聞きづらいときはLOWにします。
- 電源を切るときは  
POWERスイッチをOFFにします。

## MW (中波) 放送の最適同調点を探す

放送を受信し、SYNC/NORMAL切り換えスイッチをLOWER、UPPERの位置に切り換えると音質の変わらないところに、TUNINGつまみを合わせる。  
スイッチを切り換えて音質の変わらないところが最適同調点になります。  
最適同調点がない場合は、UPPERまたはLOWERのどちらか受信状態の良い方にします。

## MW (中波) 放送局名表示板について

このラジオは、日本全国を10地区に分け、各地区ごとに主なMW (中波) 放送局の局名を表示した、MW (中波) 放送局名表示板を採用しています。聞きたい放送局の周波数がわからなくても、表示されている局名を目安に選局できます。  
MW (中波) 放送局名表示板には10kW以上の送信出力を持つNHK第1放送と第2放送、および民放局（中継局は除く）が表示されています。表示されている放送局については、「MW (中波) 放送局名表示板、民間放送局一覧表」をご覧ください。

## NSB周波数切り換えスイッチについて

NSB (日本短波) 放送の受信状態は、MW (中波)、FM放送と異なり季節、時間、場所などによって音が大きくなったり、小さくなったり、時にはまったく聞こえなくなることがあります。また放送時間も曜日、周波数によって違いがあります。放送が最も良く聞こえる位置にスイッチを合わせてください。インジケーターが点灯します。（TUNINGつまみを回す必要はありません。）  
ラジオたんぱ第1放送 (NSB1) とラジオたんぱ第2放送 (NSB2) は、それぞれの放送内容を3種類の周波数 (3MHz, 6MHz, 9MHz) で同時に放送しています。このラジオは6個の水晶発振器を内蔵し、これら6種類の周波数が受信できるようにあらかじめセットされています。この受信周波数を切り換えるのが、NSB周波数切り換えスイッチです。

NSB周波数	NSB1	NSB2
3MHz	3.925MHz	3.945MHz
6MHz	6.055MHz	6.115MHz
9MHz	9.595MHz	9.760MHz

## 受信状態を良くする

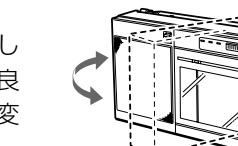
### FM (TV 1-3 ch) 放送の場合

ロッドアンテナを伸ばし、受信状態が最も良くなるように長さや角度を調節します。



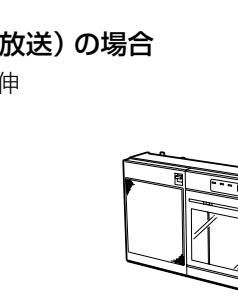
### MW (中波) 放送の場合

指向性のあるアンテナを内蔵しているので、受信状態が最も良くなるようにラジオの向きを変えてください。



### NSB1・NSB2 (日本短波放送) の場合

ロッドアンテナをいっぱいに伸ばし、垂直に立てます。



### ご注意

- ロッドアンテナの角度を調節するときは、付け根部分を持ってください。先端部分を持ったり過剰な力を加えると、アンテナを破損する可能性があります。

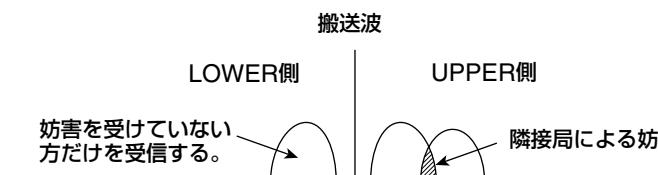


### テレビ放送の受信についてのご注意

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了するところが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

## 同期検波回路について

MW (中波) 放送、NSB (日本短波) 放送ではふつう、搬送波の上下の周波数帯を使って変調信号を送るダブル・サイドバンド方式が用いられています。隣接局によるビート妨害や混信は、多くの場合、どちらか一方の周波数帯におこります。つまり、妨害を受けない方だけを抽出して受信できるようすれば、明瞭な受信ができます。この原理を利用したのが、同期検波回路です。ビート妨害がおこったときは、SYNC/NORMAL切り換えスイッチを、UPPERまたはLOWERのどちらか受信状態の良い方に合わせてください。



### エーエムセンシティビティ

## AM SENS (AM感度) 切り換えスイッチについて

MW (中波) 放送やNSB (日本短波) 放送を聞くときには、通常HIGH (高感度) にしておきます。電波が非常に強い局を受信するときや、夜間遠くの局が聞こえすぎて近くの局が受信しにくいときにLOW (低感度) にします。

## 外部アンテナの接続

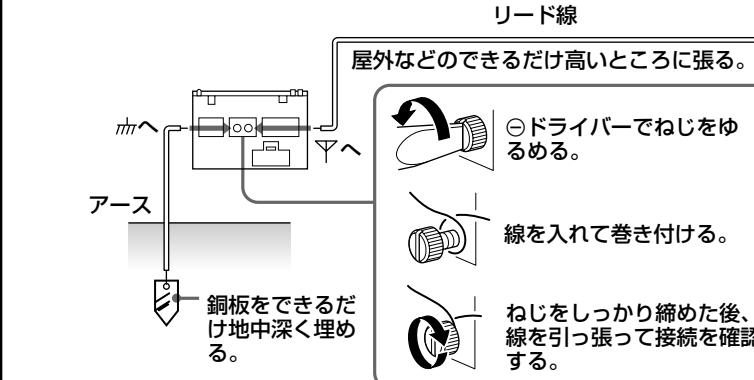
### MW (中波) 放送、NSB (日本短波) 放送の受信

MW (中波) 放送は、アンテナが内蔵されているのでラジオの向きを変えて受信状態が良くなる方向を探します。

NSB (日本短波) 放送は通常ロッドアンテナを垂直にいっぱいに伸ばして受信します。

さらに良好な受信ができるようにするには、図のように外部アンテナ端子に市販のリード線をつなぎます。雑音が多い場合には、リード線を使ってアースをとります。

雑音がひどい場合には、AM SENS切り換えスイッチをLOWにします。



## アースについて

リード線は左側につないで、もう一方の端を銅板などに巻きつけてできるだけ深く地中に埋めます。（市販のアース線やアース棒などの利用も便利です。）

### ご注意

アース線はガス管には絶対につながないでください。ガスに引火することがあります。

## MW (中波) 放送局名表示板、民間放送局一覧表

局名	周波数 (kHz)	都市名
01 北海道 HBC	1,287	札幌
	STV	札幌テレビ
02 東北 IBC	684	盛岡
	YBC	山形放送
	ABS	秋田放送
	RAB	青森放送
	TBC	東北放送
	RFC	ラジオ福島
03 北陸・信越 KNB	738	富山
	FBC	福井放送
	SBC	信越放送
	MRO	北陸放送
	BSN	新潟放送
04 関東 YBS	765	甲府
	AFN	東京放送
	TBS	東京放送
	文化放送	文化放送
	IBS	茨城放送
	ニッポン放送	ニッポン放送
	ラジオ日本	ラジオ日本
	CRT	栃木放送
05 東海 CBC	1,053	名古屋
	東海ラジオ	名古屋
	SBS	静岡放送
	GBS	岐阜放送
06 近畿 AM KOBE	558	神戸
	ABC	朝日放送
	KBS	近畿放送
	MBS	毎日放送
	OBC	大阪放送
	WBS	和歌山放送
07 中国 KRY	765	徳山
	BSS	山陰放送
	RCC	中国放送
	RSK	山陽放送
08 四国 RKC	900	高知
	RNB	南海放送
	四国放送	四国放送
	RNC	西日本放送
09 九州 MRT	936	宮崎
	OBS	大分放送
	MBC	南日本放送
	RKK	熊本放送
	NBC	長崎放送
	RKB	毎日放送
	KBC	九州朝日放送
10 沖縄 RBC	738	那覇
	ROK	ラジオ沖縄